

夢描く場所

千葉市立高等特別支援学校

学校だより 第11号

令和4年 3月25日

祝・卒業!受け継ぎ、そして新たに。

公立校では市内、県内でも1番早かったのではないでしょう。3月4日に第7回卒業証書授与式を執り行いました。あらためましてご卒業おめでとうございます。本校は平成25年に開校しましたが、今年度、開校以来、初めて定員の32名が一人も欠けることなく揃って卒業することができました。(コロナ感染症対策で別日に授与した生徒もありましたが)一人ずつ卒業証書を受け取った後は、保護者への感謝、教職員との思い出、後輩へのエールなど、思いのたけを涙ながらに話す姿は、本当に胸が熱くなり壇上で涙をこらえるのに必死でした。



学校長式辞の中で「本校は『社会自立、職業自立を目指し、誠実で心豊かな社会人として生きる力を育成する』ことを学校教育目標に掲げています。社会自立、職業自立に向けては、今日、これからがスタートです。自分の夢を実現させるために、これまで学んできたことを存分に発揮してください。皆さんには誠実さと、心の豊かさがしっかり備わっていることを私たち教職員は確信しています。後輩たちもその後姿を見て、憧れをもって後に続けたいと考えています。自信をもって進んでください。」と話させていただきました。度重なる修学旅行の延期や場所の変更。光 toku 祭や販売会等の縮小や中止。加えてグラウンド改修工事等で体を動かす機会も少なくなり、現場実習等もいろいろな意味で緊張が増しての実施となりました。そんな状況の中でも、不平不満を口にすることなく我慢したり、今できることを精一杯取り組んだりしながら、小さな喜びや少ない楽しみを存分に感じてくれていました。こんなにも立派に成長してくれたことに、そして、そんな後姿を見せながら後輩を引っ張って行ってくれたことに心から感謝しています。そんな思いから、誠実さや心の豊かさはバッチリと太鼓判を押させていただいた次第であります。

さて、在校生の皆さんはきっと『自分も来年度、先輩たちのようになれるのだろうか』と不安を抱いていることと思います。でも大丈夫です!皆さんも自信をもってください。先輩たちが前を歩いてくれた道があります。どうすればつまずかないように歩けるか、転んだとしてもどう起き上がれば良いのかを一緒に過ごしてきた1年間、2年間、見て聞いて感じて、しっかりと教わってきているはずですから、それを思い出して実践していけば OK です。これまでの先輩たちの良いところを受け継ぎつつ、バージョンアップして自分らしさを出しながら、さらに良い学校生活が送れるようにしていきましょう。

あと2週間後には新1年生が入学してきます。今度は皆さんが先輩になります。そして、10周年を迎え節目の年となります。教職員はもちろん、保護者の方々も地域の方々も協力してくれます。皆で新たに高等特別支援学校の伝統を作り上げていきましょう。

校長 三宅 健二郎